

小型はんだドross分離機

現場に朗報

フロー槽単位で再生する事で材料の混入が無くそのまま再利用が可能です。

新製品

基本機能及び特長

DFE-10 電動式はんだドross分離機

- ① 特殊攪拌分離構造によりドrossは自動的に攪拌部に流れ込む。
- ② 酸化錫は自動的に分離し、回収ボックスに排出。
- ③ 分離後のはんだは自動的にはんだ保存トレイに入る。
- ④ 分離作業は自動で行なわれ作業者の手作業は要らず安全。
- ⑤ 分離率は非常に安定しており分離後の錫材料は小麦粉状態。
- ⑥ 熱絶縁網を設け、装置表面温度は38℃以内に制御、安全設計。
- ⑦ 外板には全てステンレスを使用によりメンテナンスがしやすい。
- ⑧ 酸化錫回収ボックスは2セット、はんだ保存トレイは3セットで交換が容易。
- ⑧ 省エネ・安全で環境にやさしい装置。

基本仕様

項目	仕様
電源	220V
起動電力	1.6kw
運転電力	1kw以下
装置重量	約90kg
寸法	L=150 W=440 H=82
操作方式	ボタン式パネル操作
温度制御方式	DIP+SSR OMRONデジタル温度計使用
ドross投入口容量	10kg以下
ドross分溶解時間	20kg/約30分
分離時間	10kg/40分
排気口ファン	20w 220v
排気ダクト径	2インチ

製造元 深圳市多多工業設備有限公司

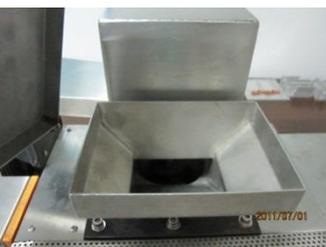
販売代理店

2018年8月25日



JMPIツギニアリツク 株式会社

〒192-0363 東京都八王子市別所2丁目29-4-804
TEL:042-306-7818 FAX:042-674-5285

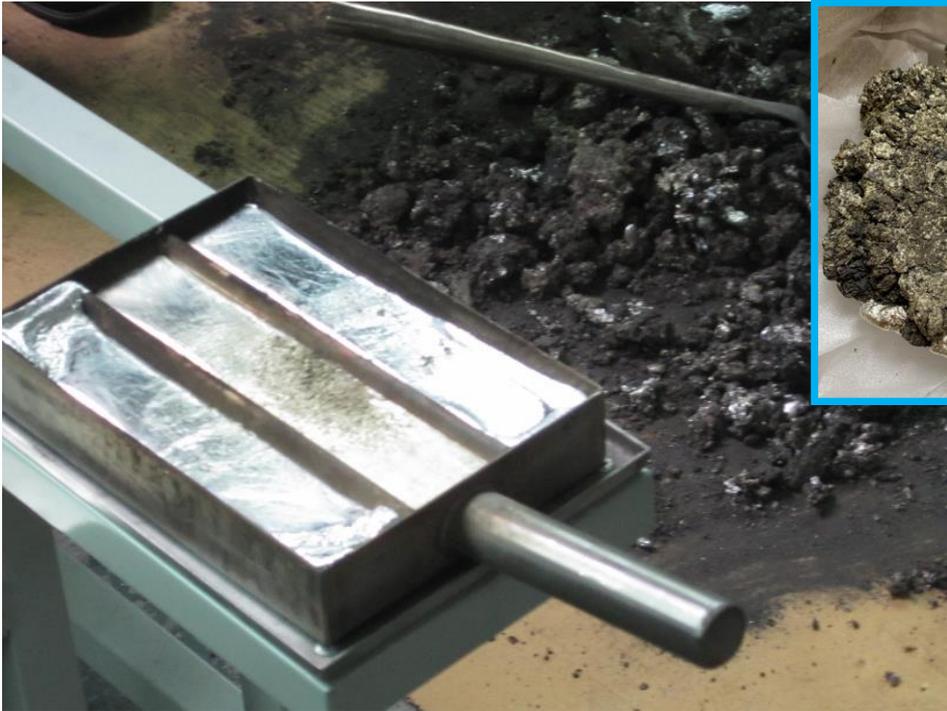


利用中の日系中国工場様
・ソニー
・田淵電機
・ブラザー
・リコー

はんだ保存トレイ



半田ドロスは、お客様のドロス回収処理方法により大きく分かります。この写真はあるお客様の保管ドロスの再生依頼を頂いたときの写真ですが、保管されていたドロスは、塊から細かな破片まで混在してました。現在私共のドロス再生装置は、以下の写真からし見ますと③の赤い円囲んだレベルのドロスを再生する装置と成っております。塊の場合は、半田熔融タンクで再溶解して、ドロスのみを取り出す事に成ります



NGドロス



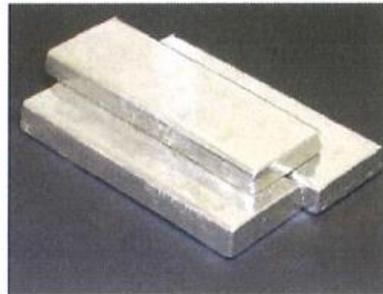
通常のドロス



ドロス

分離
→

処理後



はんだ：約90%



Sn酸化物：約10%

処理のできる
ドロスは写真
の窯に粉状で
投入出来る状
態のドロスと成
ります



攪拌ブレードを上げた
状態



追加ドロスを入れている
所



処理前のドロスの状態
10kg 1回